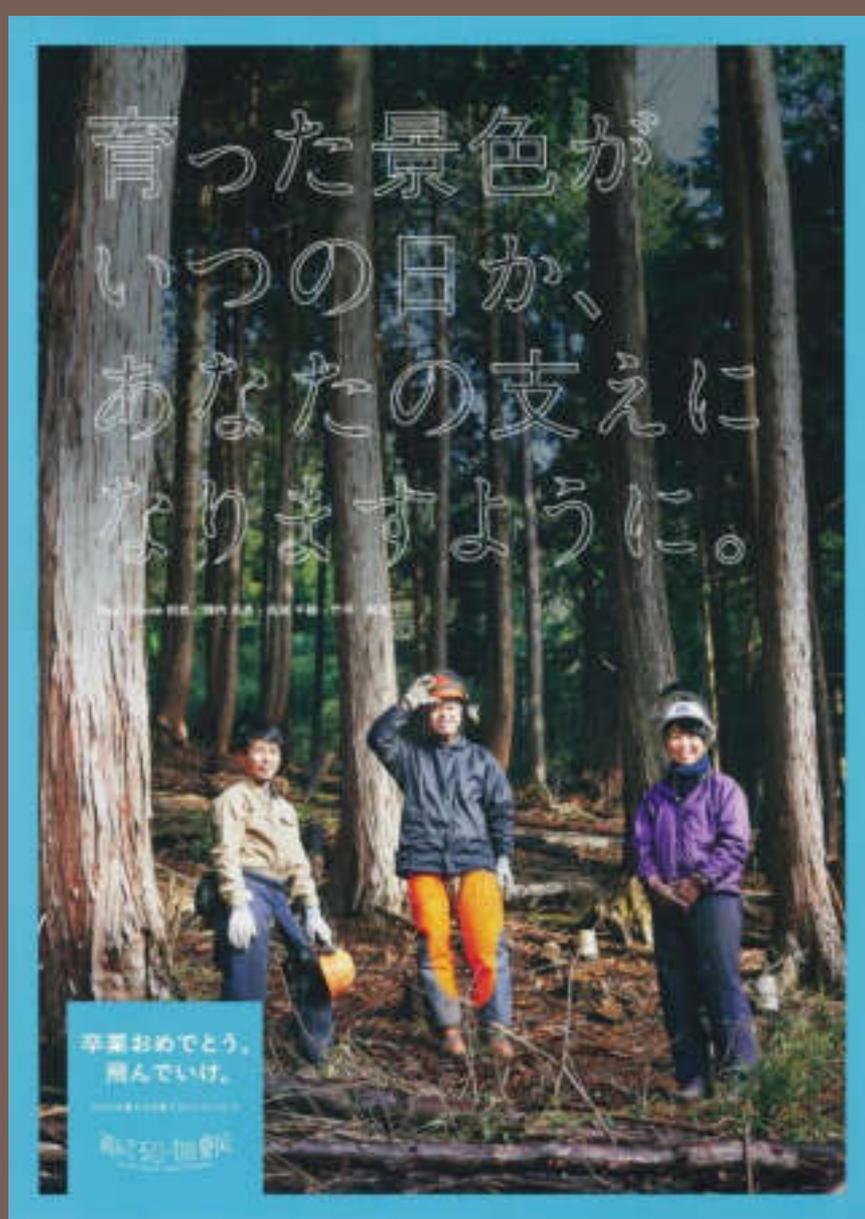


労働者協同組合法周知フォーラム
(関西ブロック)

労働者協同組合法 をどう活用するか

～兵庫・京都北部地域での実践と重ねて～



2022年10月29日

ワーカーズコープセンター事業団 但馬地域福祉事業所
所長 上村俊雄

ワーカーズコープセンター事業団とは

- ❑ 失業者の運動からはじまりった仕事おこしとまちづくりの協同組合組織
- ❑ 協同労働という働き方を広げる運動をけん引してきた全国組織

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団 組織図

2021年7月

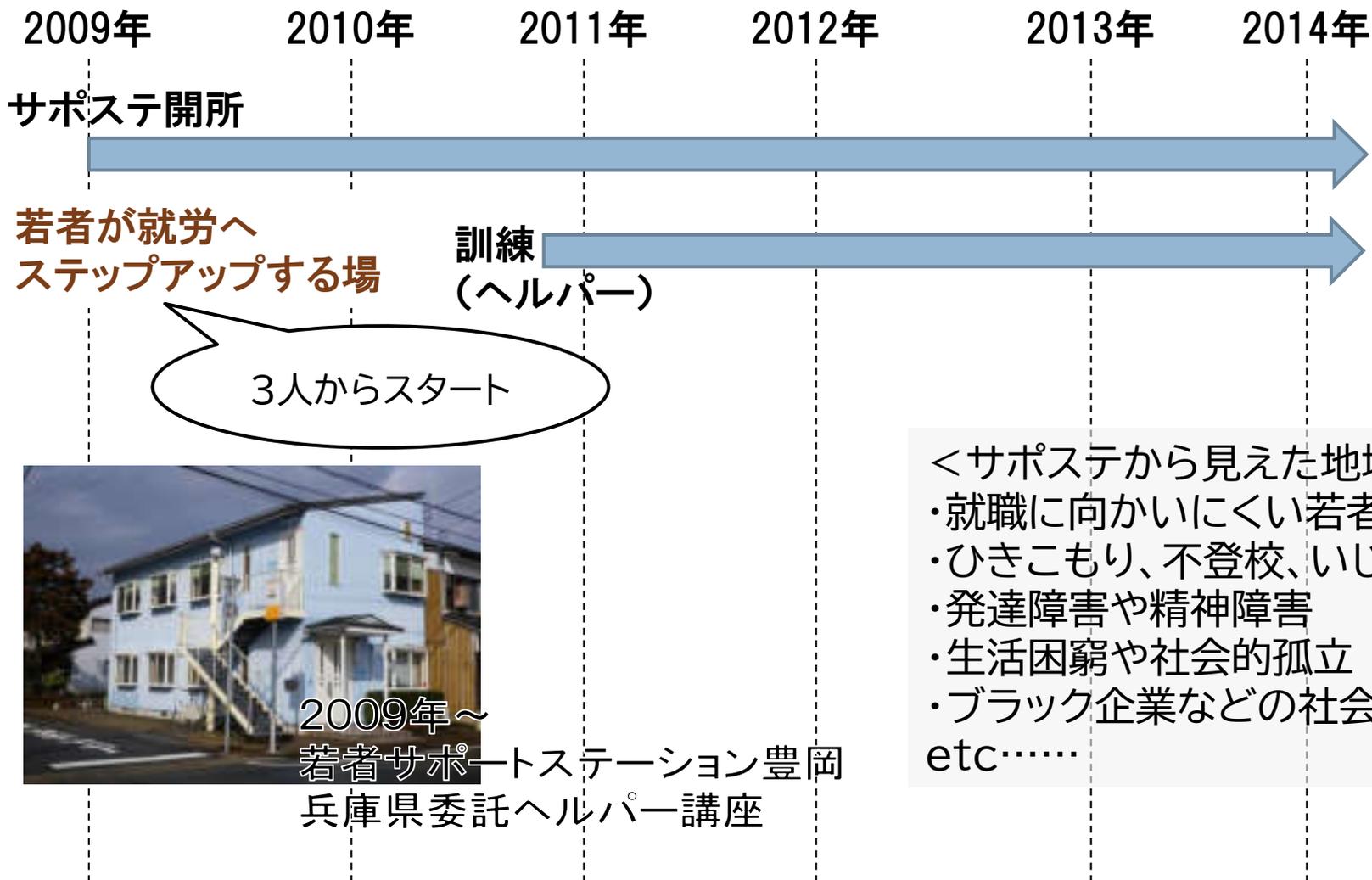


但馬地域福祉事業所

- コウノトリで有名な豊岡を拠点とする但馬（兵庫北部）エリア
- 海の京都として知られる丹後エリア



今に至る経緯



今に至る経緯

2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年

サポステ開所

サポステに滞留する若者が活躍する場の必要性

訓練
(担い手育成)

組合員は7人に

若者が就労へステップアップする場

訓練
(ヘルパー)



2010年旧大森小学校

コミュニティ就労農山村地域の担い手育成科

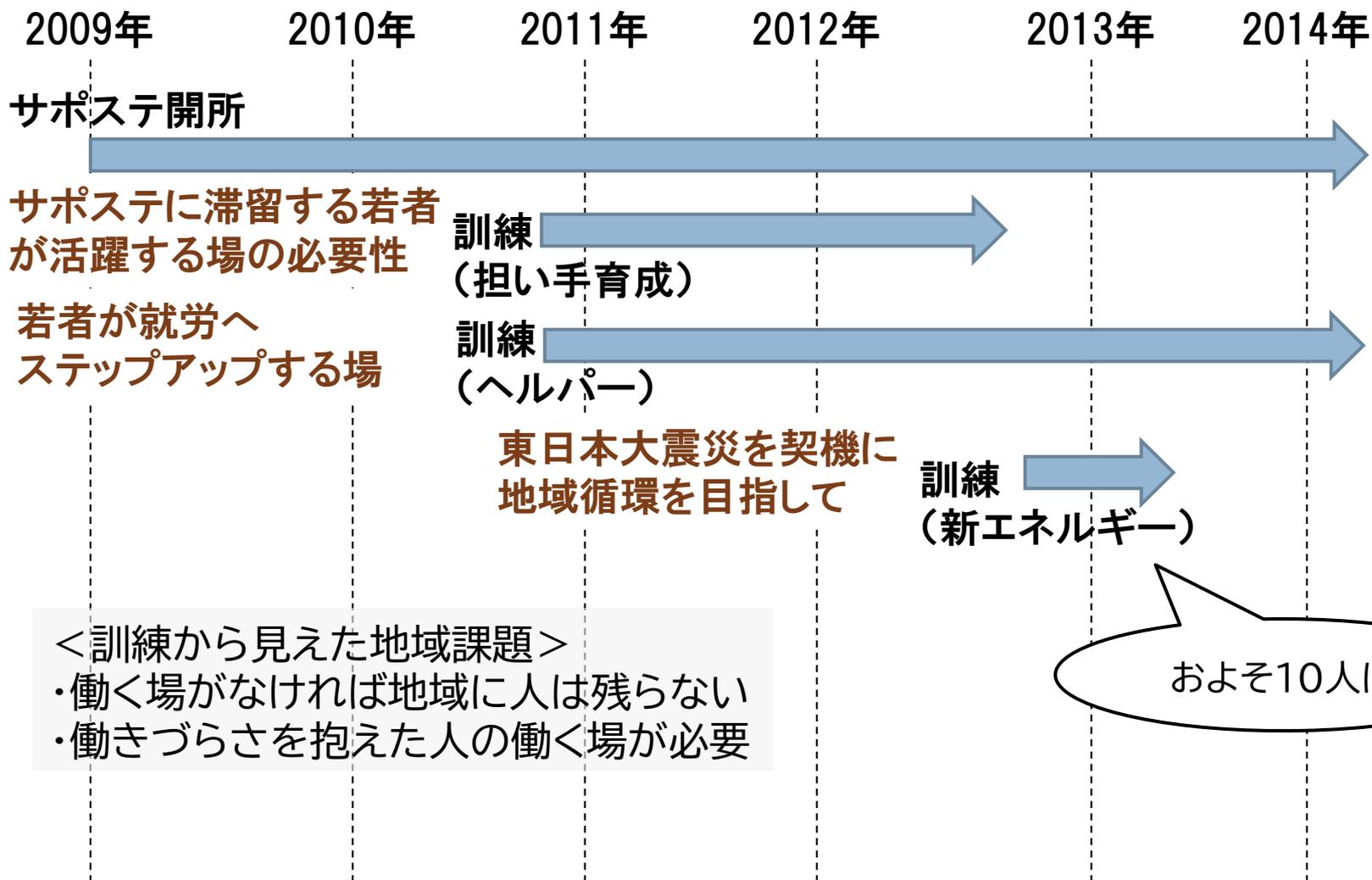


雪かき
ボランティア



菜の花の栽培

今に至る経緯



< 訓練から見えた地域課題 >

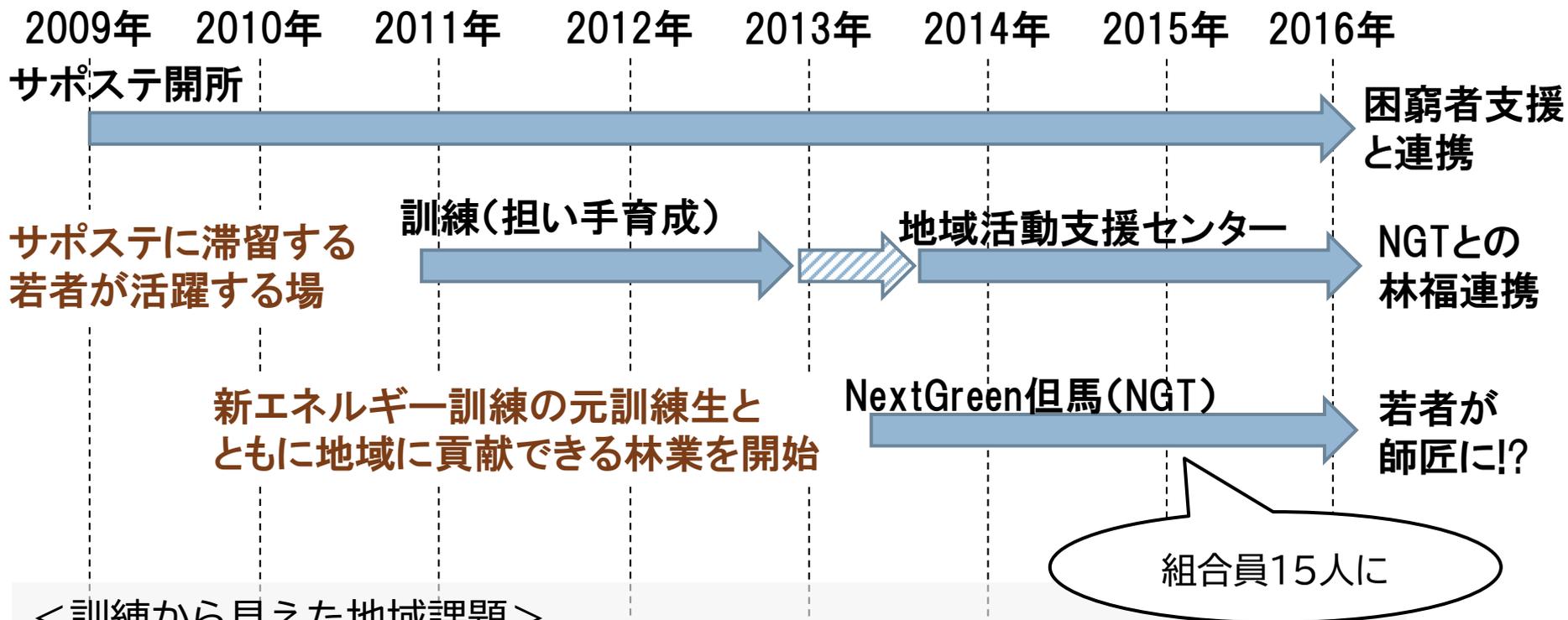
- ・働く場がなければ地域に人は残らない
- ・働きづらさを抱えた人の働く場が必要

兵庫県の公共職業訓練 「新エネルギー・環境コース」



- 「自伐型林業」「小水力発電」「BDF」を学ぶ
- 2012年10月から2013年3月までの5か月間
- 今までにない訓練を県に提案 その他分野に
- 豊岡市からの推薦書を添えて企画書提出
- 訓練生5名で実施

今に至る経緯



<訓練から見た地域課題>

- ・訓練の中で林業について学んだ訓練生が、地域のために山を手入れしたい、次の世代に遺せるような山にしたいと話すように
- ・地元アンケートすると、山の現状について憂いているが、どうしようもないという諦めを感じている現状が見えてきた
- ・そこで、訓練生が主体になって、林業部門「NextGreen但馬」を立ち上げ

1.スローガン

「次世代に遺す山づくり」

昔ながらの自伐型林業方式にならない
資源を枯渇させない山づくりをします。

担い手の不足などで整備がされなくなってしまった
山の間伐・路網整備などを適性に行い
整備の行き届いた災害に強い山づくりをします。

NextGreen但馬の活動内容

①間伐

密集した植林地で樹木の発育を助ける為に一定の割合で木を切っていきます。

その際曲がっている木や、二股になっている木を優先的に間伐し、良い木を残します。皆伐（山全体の木を全て伐採すること）など風害や土砂災害のリスクが高い伐採はしません。



②作業道づくり

山で作業する為の作業道をつくっています。

道の切り高は1.5m～2m、幅員2.5m～3mまで。地形や地質、水の流れに合わせて崩れにくく長期利用の出来る道を作ります。作業道を作る際、支障となる木を伐りすぎない様心がけています。



NextGreen但馬の活動内容

③竹林整備

植林地へ広がってしまった竹の伐採や竹林の整備を行っています。放置すると、どんどん竹が増えてしまいます。



④危険木の伐採

依頼を受けた危険木の伐採を行います。木の先端にロープをかけて上から順に伐り落として行きます。

NextGreen但馬の活動内容

⑤山の資源の活用

間伐、除伐で出た木材を木工品として加工しています。地元の旅館には体験・販売コーナーも設置しています。その他林産物の販売も行っています。



⑥山への理解を広げる・深める活動

森の健康診断、森の観察会など山への理解を深めてもらう活動にも取り組んでいます。特に、次の世代を担う子どもたちへの啓発イベントを重点的に行っています。

組合員の夢が新たな仕事に

- NextGreen但馬の育児中の女性組合員より、整備した森や自然を活用して、子どもが育つ場づくりがしたいと提案があった
- その想いに共感した自治体、地域住民と共に「森のようちえん」を週2回程度開始



森のようちえん「つむぐり」

- 自然の中で子ども主体の保育
- 子どももおとなも育つ見守り保育
- “あぶないこと”が成長の糧

大切にしたい3つのこと

1. いっぱい遊ぶ

自然の中で
友だちと遊び、
心とからだの
バランスのとれた
発達を促す



2. 自然を感じる

自然の中で
たくさんの不思議
と出会い、
豊かな感性を
育む



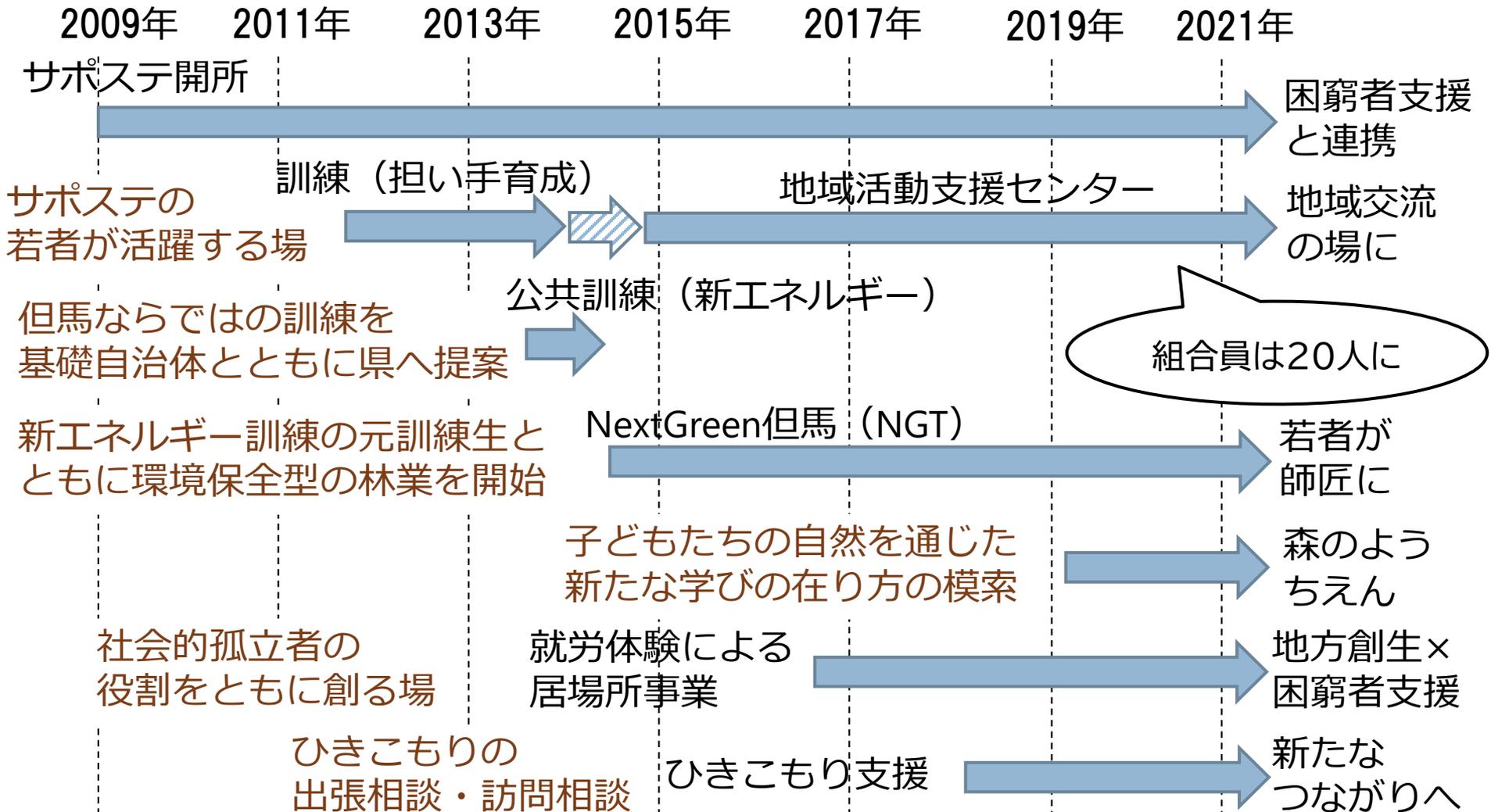
3. 自分で考える

大人の考え
ではなく
子どもの力を信じて
待ち、見守り、
受け入れる

森のようちえん構想



今に至る経緯



但馬・丹後での『協同労働』の取り組み



(兵庫県郡部の生活困窮者支援)

自立相談支援
就労準備支援
・海岸清掃
・足湯清掃
若者の居場所カミング



(若者から始まり、総合福祉
拠点を目指す事業所の原点)
サポステ豊岡

若者サポートステーション豊岡

生活困窮者支援

ワーカーズコープ
但馬地域福祉事業所

Next Green 但馬



(協同労働の自伐型林業を
行い、森の百業を目指す)

間伐、搬出
作業道づくり
山まとめ
森のようちえん つむぐり
環境教育活動

森の学校「だんだん」

(若者の居場所から地域の「居間」へ)

農業:コンニャク
工芸:松ぼっくりアート、
つる細工
海岸清掃
だんだん喫茶
※地域活動支援センター



(社会的孤立者が就労体験を
通して役割を生み出す居場所)

農作業:田んぼ、まこもだけ
山仕事:しいたけ
内職作業

就労体験による
居場所づくり
「ひまわり」

ひとつわ

(京都府丹後エリアの
ひきこもり支援の窓口)
出張相談、訪問支援、
居場所(かえでのわ)



最後に自己紹介を...

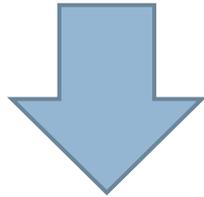
- サポステ豊岡の元利用者です
- 高校では田舎の進学校ながら、一応成績良好
- 大学は推薦を受け、地方の国立大学に入学
- 環境の変化になじめず、友達もできなかった
- 3年の頃から大学に通わなくなる
- そのまま留年を続け、4年ひきこもる
- 自殺の計画を親が知り、実家に呼び戻す
- うつも良くなり、医者からサポステを勧められる

最後に自己紹介を...

- サポステで勉強の日の先生役を頼まれる
- 役割が持てたことで、気持ちが上向いた
- ジョブトレーニングで、他の仕事も手伝う
- 一緒に働こうと誘われ、茨の道へ.....
- 電話恐怖症を抱えながらも職場の皆が支えに
- 躓いた経験を活かし、対人支援を行う
- 初めて担当した職業訓練で不完全燃焼
- 働く場は自分たちで生み出すものだと実感
- 皆でやりたいことができる事業所にしたい！

協同労働という働き方

- 働くことに対する想いは人それぞれ.....
- でも、自分の意見、想いは皆形にしたいはず
- 誰かが決めるでなく、みんなで決める



誰もが生きやすい社会づくりにきっと役立つ
「持続可能で活力ある地域社会」にも繋がる